

本田バラ香園

人と環境に優しい「バラ」をつくる

本田バラ香園(ほんだばらこうえん)は、大分県北東部に位置する杵築市(きつきし)にあります。約3,000m²のハウスでバラを栽培しています。環境、エコ、MPS、鮮度等をPRポイントとし、日持ちの良いバラ切り花を生産しています。



「スーパーグリーン」は、杵築市農林業振興大会の園芸品評会において最優秀賞を受賞しました。

MPSへの取り組み

本田バラ香園のバラは「美しさ」だけでなく、環境にも配慮した新しい時代のお花であることの証としてMPSの認証を受けています。

MPSに参加し肥料や農薬、エネルギーなどの使用量を毎月報告し、評価を受けることが重要と考えています。

MPSの最大の特徴は、花きの生産だけで完結せず、流通と一体となり、業界全体でMPS認証を取得し、より安全・安心な花を消費者に届けようとしているところだと思います。



配送箱にも お水がはいて 生き生き!

数々のコンテストで受賞したバラを、お水の入った配送箱で、新鮮なままお届けしています。



エコなRPFボイラーシステムと 太陽光発電

栽培圃場のまわりの環境にも優しい配慮をしています。肥料の廃液は池を設置し、敷地内で処理しています。夏にはそこでホテイアオイなどの水草を育て、冬に枯れたら果樹の根元の肥料とします。

エネルギーに関してはRPFボイラーや太陽光発電などでCO₂削減や地球温暖化防止にも貢献しています。

温室をあたためるボイラーはRPFというエコな燃料を使っています。「RPF」とは Refuse Paper & Plastic Fuelの略称で、古紙及びプラスチックなどを原料とした高カロリーの固形燃料です。



電気エネルギーは、屋根にソーラーパネルを設置し、太陽光発電も使用しています。

これからも日々お客様のお喜びの顔を思い浮かべ、美しく、人と環境にやさしい「バラ」を育ててまいります。

<http://www.shokokai.or.jp/44/4434210007/index.htm>